

みなと舎のフリーペーパー



2014年4月開所 ライフゆう

社会福祉法人「みなと舎」の新しいチャレンジと一緒に参加しませんか？

<http://www.minato-yuu.or.jp>



mini

TAMAGOMUSHI

たまごむし

VOL.02 2013 MAY

白いキャンバスに いっしょに絵を 描きませんか？

Let's draw a picture on white canvas together.

2014 年春、重症心身障害児・者のための入所施設
『ライフゆう』が誕生します。

今ここにあるのは、
社会福祉法人「みなと舎」が築いてきた
一人ひとりの豊かな生活を柱とした
「本人中心支援」という考え方だけ。

どんな「人生の物語」が描かれるのか、
一緒に考えてみませんか？

相模湾をのぞむ
OCEAN VIEW

ライフゆう計画地。
2014 年 4 月開業にむけて、
現場では着々と工事が進行中！

日本一の山
Mt.FUJI！

写真：ライフゆう計画地

ライフゆうの計画地は、神奈川県横須賀市と三浦郡葉山町にまたがる多目的区画地域「湘南国際村」にあります。
大楠山や、東京湾、相模湾を見渡することができる高台にあり、周囲は沢山の自然に囲まれています。

はじめまして。福祉を勉強している大学生のタマゴムシコです。
2014 年春に「ライフゆう」っていう重症心身障害児・者のための
新しい施設ができるんだって。おもしろそうだから、調べてきたよ！



みなと舎はどうして
できたんだろう？

HISTORY

みなと舎のあゆみについて調べてきたよ！

施設内はとても清潔感があって、
メンバーさんやスタッフの皆さんも
きもちよく過ごされていたよ。



みなと舎設立

どんなに障害の重い方にも地域生活をー

ご家族の思いからはじまった「ゆう」は、平成10年、横須賀市初の重症心身障害者のための通所施設として生まれました。

私たちが最も大切にしていることは、「本人中心支援」。スタッフはゆっくりとメンバーさんの波長に心を合わせることで信頼関係を育み、一人ひとりの人生に、豊かな“心のひだ”をつくっていきます。そして、メンバーさん本人の「生きる力」を引き出します。

そんな気持ちでメンバーさんと向き合い、笑いあり、涙ありの、にぎやかな毎日を送っています。そして、メンバーさんから生きることの大切さを学び、エネルギーを頂いています。

みなと舎の事業展開

一人ひとりがこの横須賀の地で、
その人らしく豊かな人生が送れるように。

これまでみなと舎では、本人やご家族のニーズに寄り添いながら、様々な事業を展開して参りました。

1対1の支援を行う通所施設「ゆう」、医療的ケアが必要な方も自立生活を送る「ケアホームはなえみ・はなあかり」、人生を豊かに彩る「ヘルパーゆう」など、障害の重い方のための地域生活を支えるため、新たな支援の形へのチャレンジを続けてきました。

しかし様々な要因が重なり、現在、ケアホームの拡大は難しい状況にあります。また、特に医療的ケア等のニーズには、みなと舎の事業だけでは応えられなくなってきました。

スタッフの皆さん自身が
楽しみながら、
メンバーさんの為に
様々なイベントを
企画しているのが
印象的だったよ。



Q & A

「ライフゆう」って なんだろう？

「ライフゆう」に関する素朴な疑問を調べてきたよ。



何でも知ってる
たまごむく先輩



「ライフゆう」はどうして設立されるの？

2011 年、横須賀市から重症心身障害児者施設の計画が発表され、設置・運営者の公募が始まりました。

どんなに障害が重くても、親から離れて生きる本人の自立生活を「ライフゆう」では実現したいという考え、この気持ちを後押ししたのは、ご家族の声でした。アンケートの結果、ほとんどのご家族が、みなと舎が施設をつくることを望んでいたのです。

その使命が私たちにあるのならー
ご家族の強い想いが法人の想いと一体となり、みなと舎は「ライフゆう」設立に向けて歩み始めました。



「ライフゆう」の役割は？

「ライフゆう」が担う役割は、大きく分けて3つあります。



1. 本人の地域生活の場
2. 医療面でのサポートの役割
3. 地域生活を支えるセーフティーネットの役割



施設に入所しても地域生活を継続できるのはすごいことだね！



「ライフゆう」から始まる取り組みは？

「ライフゆう」では、一人ひとりの自立生活の実践のため、新たな形の支援にチャレンジします。

1. 入所施設でありながら、「地域生活」を楽しむ
2. 社会活動へ参加する
3. 入所施設でありながら、自立生活の場
4. 看護師を配置し、医療的ケア、ターミナルケアを実践
5. リハビリテーションや日中活動など、様々な行事や活動を行う

その他にも、施設で働くスタッフのお子さんが通える、院内保育も計画中なんだった！



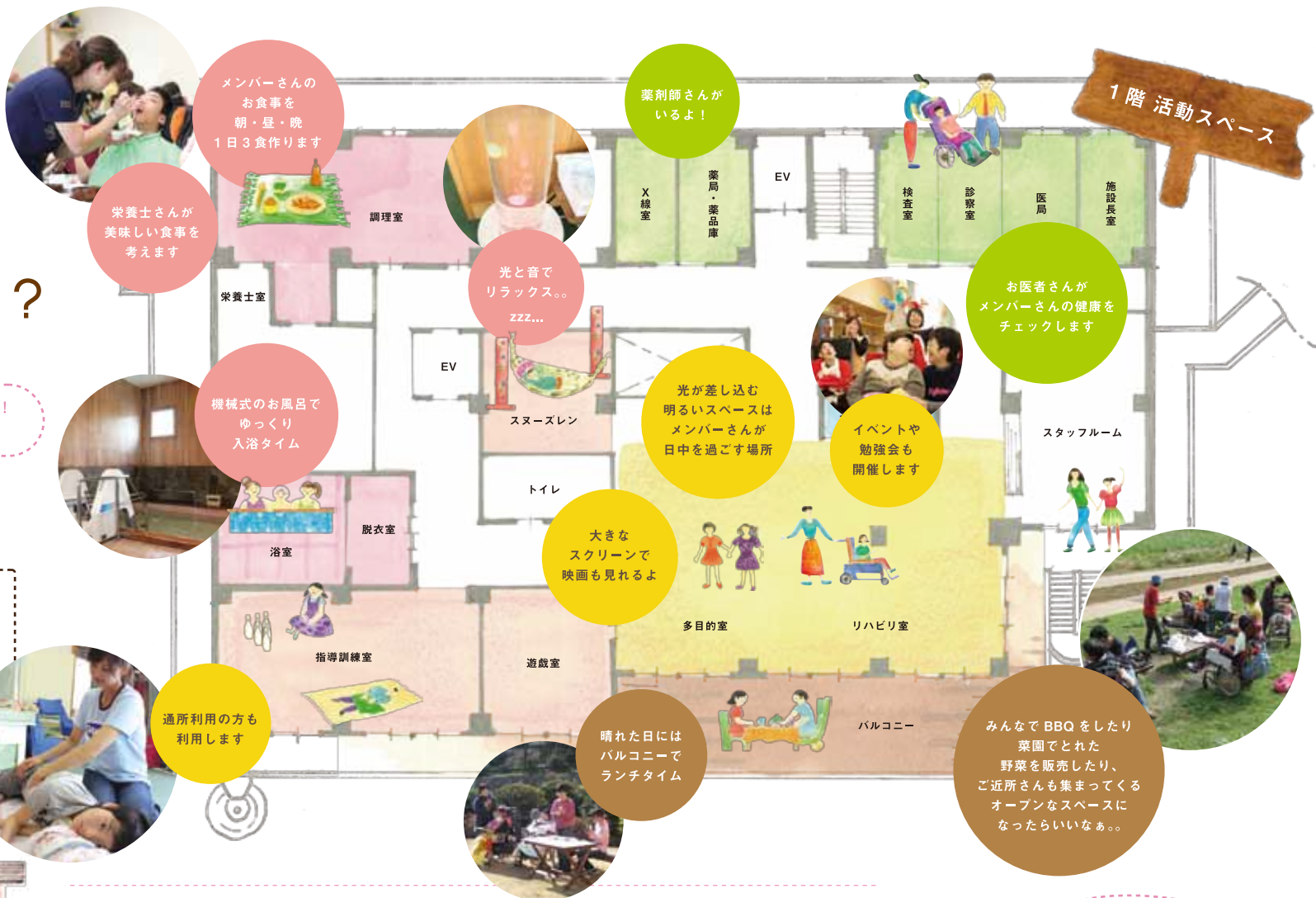


ライフゆうでは、 どんな風に 過ごせるんだろう？



「ライフゆう」の計画図面を見せてもらったよ！
いろんなお部屋や設備があるんだね！

現在建設中の「ライフゆう」の床面積は4,750㎡！
鉄筋コンクリート造3階地下1階建ての建物では、
医師・看護師・リハスタッフ・栄養士・
生活支援スタッフ・事務スタッフなど、
総勢100名のスタッフで、メンバーさんを
支える予定です。



3階・・・居室

定員 施設入所：64名 短期入所：4名

2階・・・居室

定員 生活介護：16名 放課後デイ：5名

1階・・・活動スペース（通所含む）

B1階・・・会議室・機械室など

こんなに広い施設なんだけど、
家庭的な雰囲気的大事のために
床は絨毯なんだって。



若手スタッフにインタビュー！！



里吉めぐみさん

社会福祉士の資格を持っていましたが、介護福祉士の資格取得にむけて勉強をしながら、非常勤スタッフとして働いていました。その期間も含めて、『ゆう』で働いて6年目の常勤スタッフです。

「ゆう」で働くきっかけは？

出会いは、大学の医療福祉論の授業でした。学校にスタッフとメンバーさんがいらっしゃって社会福祉法人「みなと舎」の取り組みを紹介していただき、あたたかい印象を受けました。その後、就職活動中に、たまたま社会福祉法人「みなと舎」の求人を見つけ、「講義をしてくれたところだ。」と思い、面接を受けることにしました。ご家族が立ち上げた作業所を母体としてうまれた施設だということに魅力を感じました。



職場はどんな雰囲気？

“「ありがとう」と「お願いします」の飛び交う職場”です。メンバーさんとスタッフで温かい雰囲気がつくられています。マンツーマンでメンバーさんとかわれることも魅力的です。日々、メンバーさんたちと向き合って仕事をしていきたいと思っています。



『ライフゆう』に期待することは？

『ライフゆう』を立ち上げることで、社会福祉法人「みなと舎」がどのように変化していくのかみていきたいです。新しい施設の立ち上げに立ち会えるのは楽しみです。また、様々な職種が携わるので、スタッフ同士学び合える現場になれば良いですね。



お2人ともとても楽しそうにお仕事されていたよ。
『ライフゆう』の立ち上げにかかわりたいという思いも聞けたよ。
施設のスタートアップに携われるのは面白そうだし、貴重な経験となって、成長できそうだよな。



江川しおりさん

現在、『ゆう』で非常勤スタッフとして約1ヶ月間働いています。社会福祉士、精神保健福祉士の資格を持つ大学院生で、卒業後は社会福祉法人「みなと舎」に就職予定。

「ゆう」で働くきっかけは？

社会福祉士と精神保健福祉士の資格を取得していて、将来は相談員になりたいと考えています。しかし、その前に現場で経験を積む必要性を感じていました。そんな時、『ライフゆう』という来年オープンする施設で働けば力がつくのではないかと知人から紹介されたのがきっかけです。まずは『ライフゆう』を立ち上げる社会福祉法人「みなと舎」が運営する『ゆう』で非常勤として働いてみることにしました。



職場はどんな雰囲気？

身体介助の経験がほとんどなかったのですが、日々他のスタッフから様々なことを教えていただいています。また、メンバーさんとのかわりを通して、一人ひとりの個性や何に関心があるのかを覚えるよう努めています。



『ライフゆう』に期待することは？

『ゆう』はスタッフ同士の仲が良く、メンバーさんのことをしっかり考えた支援ができています。『ライフゆう』も、規模が変わってもこんな施設になればいいと思います。

一人ひとりの“発達”を見逃さない支援

ライフゆう
施設長(医師) 林 なをみ



重症心身障害児(者)とは学生時代のサークル活動以来の長いかかわりがあります。小児科医になってからは地域医療を通して病院・施設から家庭・地域にもどってきた障害児とその家族を支援してきましたが、縁あって『ライフゆう』の立ち上げメンバーの一員となりました。

私の仕事のテーマは“発達”です。働く場所が地域から施設に変わってもこれは変わりません。

重症心身障害児(者)は「何歳までに〇〇ができていないといけない」という階段式の“発達”に当てはめてしまうと、“発達”が止まってしまっているのではないかと捉えられてしまいます。こうなってしまうと、重症心身障害児(者)とかかわっていても毎日同じことのくり返しで、何も変わらないと思いがちです。

しかし、最近の“発達”の考え方の主流は変わってきています。経験したことがどんどん地層のように上に重なっていくイメージです。見えてこない過去の経験も現在に影響

を与えています。この発達観で重症心身障害児(者)とかかわると“発達”がしっかりと捉えられるようになります。寝たきりでコミュニケーションがとれなくてもその子なりの“発達”があることがわかってきます。みなさんがひとりの大人として自立して生きていこうとしています。『ライフゆう』ではメンバーさんそれぞれの“発達”に合わせた環境を他のスタッフと整えていけたらと考えています。

そして、スタッフも様々な経験を通して“発達”の地層を重ねていってほしいです。専門職は日々勉強です。勉強をせず、医学や福祉の学問的進歩についていかないまま仕事を続けていても、成長できません。

また、全員が同じように働くのではなく、それぞれが創意工夫をしてメンバーさんとかかわっていただけたらいいですね。自分が思いつかないような意見が他のスタッフからでてくるのが楽しみです。

新人スタッフの意見もしっかりと聞いてもらえそう！
施設の立ち上げは大変なことも多そうだけど、
林さんと番場さんも一緒に心強いね。



メンバーさんとスタッフの“ライフ”を大切に

ライフゆう
看護師長 番場 清美



別の重症心身障害児(者)のための入所施設を今年3月に定年退職しました。昨年の3月頃に理事長の飯野さんから『ライフゆう』を立ち上げるにあたり、施設経験者として全体を統括する看護師長になってほしいというご依頼を受けました。

返事をする前に『ゆう』へ見学に行った際、驚きました。メンバーさんとスタッフがマンツーマンでかわり、メンバーさんのそばには必ずだれかがいる光景を見たのは初めてでした。前の職場では、利用者さんに呼ばれても「ちょっと待ってね」と言うことが多かったからです。

また、『ゆう』に通所しているメンバーさんの中に、Dさんという以前お会いしたことのある方もいらっしゃいました。小さかったDさんがケアホームで自立して生活し、穏やかな表情で通所されていてとても感激しました。

定年までの1年間は、ボランティアとして『ライフゆう』の設計ミーティングに時折参

加させていただきました。メンバーさんとかかわる機会もあり、愛着が湧いてきました。施設の立ち上げはすごく大変なことだと思いますが、私のモットーは“向き不向きより、前向き”なので挑戦してみることにしました。

今年4月よりメンバーさんからエネルギーをいただきながら『ライフゆう』の準備を『ゆう』の一室で進めています。

『ライフゆう』は入所施設です。メンバーさんの“ライフ”と共にスタッフの“ライフ”も支えられる場になればと考えます。メンバーさん中心にスタッフ個々の意見が活かされるようにしたいです。

重症心身障害児(者)の看護は特殊だと思われがちですが、新人の看護師にとっては実習で最初に学ぶ基本的な技術が活かされます。

メンバーさん一人ひとりの障害程度が様々ですから観察力も求められますが、メンバーさんから学ぶことが多く、大きく成長できる場だと考えます。

TEAM LIFE YUU（チーム・ライフゆう）とは、
メンバーさんを中心とした「人生支援」チーム。
医療的サポートにより健康を守り、
様々な職種のスタッフがその人らしい生活を支えます。
スタッフ、家族、地域社会の人々で構成される
「人生支援」チームは互いにつながり、
メンバーをサポートしあっています。

「ライフゆう」は様々な専門職のスタッフや、
事務、運転・添乗スタッフ、厨房スタッフなど、沢山のスタッフさんが
それぞれのスキルを活かしてメンバーさんの「人生支援」をしているんだね。

チーム・ライフゆうに参加しませんか？
2014年春オープン予定の「ライフゆう」では
オープニングスタッフを募集しています。

詳しくはホームページをご覧ください。
<http://minato-yuu.or.jp/>

ライフゆう
(2014年春オープン)

ケアホーム
はなえみ・はなあかり

ヘルパーゆう

ショートステイゆう

ゆう

支援センターゆう

TEAM LIFE YUU

チーム・ライフゆう

専門職ごとに異なる視点の
意見を出し合う場は
とても勉強になりそうだね。



調べていくうちに、いつのまにか
「TEAM LIFE YUU」の一員として
働きたくなっちゃった！



LIFE YUU at
SHONAN VILLAGE

ここが中心！
「湘南国際村センター」は丸い！

ライフゆうのお隣さんは
ECOLE DE HAYAMA(資生堂湘南研修所)
試供品くれるかな??

地球環境戦略研究機関って
本当に地球の平和を守っているらしい。

ここからも富士さんこんにちは！



「湘南国際村」ってどんなところ？

神奈川県横須賀市と三浦郡葉山町にまたがる、多目的区画地域「湘南国際村」の中に、ライフゆうの計画地があります。

2つの研究施設(地球環境戦略研究機関(IGES)、総合研究大学院大学)11の研究施設(湘南国際村センター、IPC生産性国際交流センター、中央福祉学院ロフォス湘南、ほか民間研修施設)が立地し、国際的視野に立脚した学術研究、人材育成、技術交流、文化交流の事業が展開されています。

「湘南国際村」の入り口にある看板
SHONAN VILLAGE

ツツジって本当に素敵！
中央福祉学院(ロフォス湘南)のエントランス

やっぱり丸い「横須賀市給水塔」！？
実はここに、おいしいレストランがある。
らしい、、、

椰子の木がリゾートチックな
多目的宿泊施設「湘南 OVA」
で BBQ はいかが？

春の湘南国際村はツツジが満開で
彩りに溢れます。

一番高台は住宅街になっていて
湘南のビバリーヒルズと呼ばれています。
青春白書？

INFORMATION

「ライフゆう」では
オープニングスタッフを大勢募集しています。

社会福祉法人「みなと舎」の新しいチャレンジと一緒に参加しませんか？



問い合わせ

社会福祉法人 みなと舎

神奈川県横須賀市芦名 2-8-17
<http://www.minato-yuu.or.jp>

お気軽に、お電話にてお問い合わせください。

TEL: 046-855-3911 (担当: 山本・森下)
FAX: 046-855-3912

